



## 10月以降の日課・行事予定について



昨年度、大津市教育委員会からの通知「9月13日以降の市立小中学校の教育活動について」を受けて、日課および学校行事を変更して過ごしてきました。第7波の終息が明言はされていませんが、新規感染者数は減少傾向にあります。コロナに対抗しながらも共に走り続けなければならないウィズコロナが今後も続くであろうこと、感染対策を万全にしつつ、可能な限り平常時に戻す政府の方針等踏まえて、10月3日(月)以降の日課を以下の通り変更します。

子どもたちに間違って解釈して欲しくないのは、だからと言って感染対策を緩めてよいということではないということです。市教委の統計によれば、8月1日から9月第1週までの本市児童生徒・教職員の感染者数は令和3年度の1年間分に迫りつつあります。これまで通り3密を避ける、換気を十分に行う、手洗いをしっかりするなど基本的な対策を変更するものではなく、今後も万全を期しながら可能な限り平常の生活に戻すということです。

日課の変更に伴って、習い事等の都合等放課後の児童の生活時間の変更を伴いますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

2学期以降に予定している学校行事、とりわけ体育学習参観、各学年の校外学習、6年修学旅行、4年ふるさと体験学習については現時点では変更なく実施予定であることを併せてお知らせします。

2022年度

### 日課表

曜日 時間	月	火	水	木	金	
8:20	登校					8:20
	手洗い・健康観察票確認					
8:25	健康観察・朝読書					8:25
8:30	朝の会					8:30
8:45	1校時					8:45
9:30	トイレ休憩					9:30
9:35	2校時					9:35
10:20	長休み					10:20
10:35	手洗い					10:35
10:40	3校時					10:40
11:25	トイレ休憩					11:25
11:30	4校時					11:30
12:15	手洗い・給食					12:15
12:50	真野っ子タイム					12:50
13:05	もくもくそうじ					13:05
13:15	片付け・手洗い					13:15
13:20	昼休み					13:20
13:40	手洗い					13:40
13:45	5校時					13:45
14:30	トイレ休憩 帰りの会	トイレ休憩 帰りの会	帰りの会	トイレ休憩 帰りの会	トイレ休憩 帰りの会	14:30
14:35	6校時 委員会クラブ 14:40~15:25	6校時	完全下校 14:45	6校時		14:35
15:35	移動着替え	帰りの会		帰りの会		
	完全下校			完全下校		15:35

5校時完全下校・・・14:45 6校時完全下校・・・15:35

# 「おねだん以上」な話 ～短所は長所で隠れる！～

昨年、朝日新聞にこんなインタビュー記事が載っていました。

『おねだん以上～』というフレーズが今では多くの人の耳に馴染んでいます。ニトリホールディングスのCMです。2022年2月期の連結決算は、売上高8,115億円、経常利益1,418億円、株式の時価総額はイオンリテールを凌ぐ勢いで、今や「ニトリ」を知らない人はいないほど有名な企業となりました。このニトリホールディングス会長である似鳥昭雄氏は、発達障害（ADHD・注意欠如・多動症）だと自らインタビューで答えています。似鳥氏は小学4年生になっても自分の名前を漢字で書けません。成績はいつもビリ。先生の話をも1分も聞いてられない子どもでした。勉強が苦手でお母さんに嘘をついていたというこんな実話を語っています。

「私は本当に勉強が苦手で、それで親を泣かせていました。成績表は5段階中の1と2ばかり。それで母に『成績ってというのは、1が一番よくて、その次が2なんだ』と嘘を言ったら、母がそれを信じ込んでしまい、ご近所に『昭雄は勉強ができる。成績表は1と2ばかりだ』と言いつらしていました。みんな、悪いと思ったのか何年間も本当のことを母に言わなかったのですが、ある時、とうとう『実は5が一番よくて、1が最低なんですよ』と言った人が出てきました。母は『そんなはずはない！』と信じずに、学校の先生のところに行って問いただしたのです。そうしたら、『5が一番いいのだ』とわかりました。母は『親をだました』と泣いて怒り、私は叱られて、叩かれました。母が怒ったのは私の成績が悪かったからではなく、私が嘘をついたからでした。」

今でも整理整頓ができなくて、机の上は書類だらけ。家は脱いだ服やら、何もかもがそのへんにボンボン投げたまま。なくし物も多くて、身に付けるありとあらゆる物をなくします。財布、カード、傘……。子どもを忘れて来たこともあったとか。人の言うこともじっくり聞いてられないといったことも自覚しておられます。仕事については営業も接客も全部苦手。それでも、一代で売上8千億円の企業を築きました。

実は3年ほど前、発達障害だということが分かったそうです。テレビを見ていて発達障害の特徴や種類を紹介していました。ああそっくりだなと思い、専門医に診てもらい、自分でも本や文献を調べて私は正真正銘の発達障害、ADHD（注意欠如・多動症）だと分かりました。苦手を抱えながら、なぜ成功できたのか。他の人とは違うということを感じており、将来に対する不安も大きかったと言います。ただ、好きなことには集中できるので、高校を卒業する頃から「人のやらないことをやろう」と考えており、こんな物があったら便利だなといった様々なアイデアを考えて図面を描いていたそうです。似鳥氏は続けます。「自分が何を得意とするかは、いろんなことをやって、自分で見つけることです。人間、一つくらい何か“これ、いけそうだな”というものがあるはず。それを早く見つけること。長所が見つかる、短所が隠れちゃうんだよね」と。発達障害云々より、「長所を早く自分で見つける」「それで短所が隠れる」成る程と思いました。周りからは変わった人だと今も言われるそうですが、「発達障害のおかげで、人が考えつかないようなことを考えられる」と語るスナップ写真は生き生きと輝いて見えました。

## 随時更新しています！真野小学校Webページをご覧ください！



いつも本校Webページを閲覧していただき、ありがとうございます。できる限りの更新頻度で普段の教育活動の様子や必要な教育情報を発信するようにしています。「いつも見えています！」とお声がけいただくことが増えて来ました。大変励みになります。ありがとうございます。

さて、この度「再生コンテンツ」のページを作成し公開しました。「真野っ子ニュース」など動画コンテンツを再生できるページにしていきたいと思っております。視聴に必要なID・パスワードはメール配信にてお伝えしています。取り扱いには十分ご留意いただきますようよろしくお願い致します。

前号で「コヴィーの『7つの習慣』」についてお知らせした際、**第7の習慣：刃を研ぐく4つの資源(肉体、精神、知性、情緒)を維持、再新する**という習慣が抜けていました。お詫びします。